

創刊の辞

東北学院大学文学部 総合人文学科長

原口 尚彰

『人文学と神学』（『教会と神学』改題）創刊号をお届けします。2011年4月1日に東北学院大学文学部総合人文学科が成立しました。総合人文学科は、キリスト教伝道者養成を目的として1964年に設置されたキリスト教学科を改組して成立した学科であり、思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学の3専修コースから構成されています。リベラル・アーツ全般をカバーする学科の構成員として、新学科の教員は従来の宗教・神学分野だけでなく、思想・哲学分野や、文化・芸術分野においても研究・教育活動を行うことを求められています。研究分野の大幅な拡大に伴い、学科教員の研究成果の公表の場である学科紀要も、『教会と神学』から『人文学と神学』と改題することとなりました。

『教会と神学』は52号を数え、神学界において聖書神学、歴史神学、組織神学、実践神学各部門における学術論文を掲載する神学専門誌として一定の評価を得ていました。これに対して、『人文学と神学』は、人文学と神学の学際的な対話を目指しています。執筆者である学科教員は、神学研究者だけでなく、人文諸学の研究者も視野に入れながら、研究論文の執筆をすることとなります。『人文学と神学』が、総合人文学科の情報発信の手段として、人文諸学と神学の両方において問題を提起し続け、創造的な学問の場の一つとなり、学問研究の発展に大きく寄与することを願っています。